

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

公表日:2022年 2月5日

事業所名:ヴィストカレッジ富山駅前

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	2		時間帯が集中しているため部屋が足りないことがある。申込みが多い時間は2022年4月から固定化の枠を3枠に絞る。
	2	職員の配置数は適切であるか	5		2	配置人数は適正だが、ワーク担当数が1日4コマになりそうな日がある。次年度より人員の見直しを行う。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	4	2	スロープ、車いす昇降機に設置ができていない。建物の構造上玄関に階段があるため、必要な場合はスタッフが介助を行う。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6		1	定期MTGで業務改善を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	2		今回のアンケート結果を有効活用し業務にあたる。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	1		HPIにて掲載を行う。掲載の際に全体LINEを流す。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	3	1	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6		1	毎月スタッフ向けの勉強会や研修を実施している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			WISCやK-ABCの結果を黒ファイルに保管し共有している。中高生向けの放デイとしてB-WAPも導入予定。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	4		スタッフ間での共有はある程度できているが、文書化したものはない。利用者さんの状況にもよるので画一化したものの必要な無いかもしれない。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	2		新しいアイデアが必要な際は案を募っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	2		年間で行うプログラム(コミュニケーションスキル、アンガーマネジメントなど)はある程度決めて共有し、必要な際はリピートすることで定着を促している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	2		長期休暇限定のイベントや季節行事の開催をしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6		1	シフト制のためHUGのケア記録で、前回の活動内容を確認。必要であれば担当者に相談し、ワーク内容の助言をもらう。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7			毎日利用者さんの振り返りと共有を実施している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	3	3	1	基本活動を組み合わせて支援を行うことができている。ガイドラインの総則については各々が理解を深める機会となった。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	2		連携が必要な際には日頃保護者と面談を行い、日々の記録を確認している担当者が窓口となる。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	3		学校連携を行い、情報共有している。また、通所訓練の開始の際は密に連絡をとりトラブルに繋がらないよう計画をたて保護者と共有を行う。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		6	1	現在は該当する児童がいないが、受け入れの際は対応を行う。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	1	2	対象年齢にあっていない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	3		就労移行支援・就労継続支援に繋げている。繋がらない方に対しても私費サービスを紹介を行い必要な福祉資源に繋げている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	5		該当児童に対して定期的な報告を行っている。必要な際には電話にて連携。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	2	4	昨年度に関しては例年外部衆知のイベントに対してもコロナで関係者のみとしていたため行っていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	3	2	児童発達支援管理責任者が参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	2		自力通所が多いため基本的にはHUGにて報告を行う。定期面談の際にヴィストでのご様子をお伝えしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	2	3	私費事業に移行している。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	1		個別面談を依頼しやすい環境づくりを行い(チラシの張り出しなど)必要な方にはスタッフからの声かけを行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7			定期的に保護者会を実施している。
非常時等の対応	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1		駐車場の問題があった際は他部署(ヴィストキャリア・ジョブズ・相談支援)と連携をとり早急に解決している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			
	35	個人情報に十分注意しているか	7			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	1		HUGを使つての活動報告を行い、足りない部分はLINEにて個別に報告をしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	4		例年行っていたイベントもコロナで関係者のみの参加としているため行っていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	2	1	緊急対応マニュアル・感染症マニュアルの張り出しを行っている。防犯マニュアルに関してはすぐに張り出しを行う。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	1		防災訓練を年に2回実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	2		4月から完全実施を行う。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	4	1	計画説明の際に内容をお伝えする。 ※事務所に入らせないための身体接触や危険行動への対応で接触した場合に了承を頂く旨
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	5		アレルギーに関しては黒ファイルにて保管を行っている。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	1			